

メキシコ – NAFTA再交渉のポイント④ –

<NAFTA再交渉の行方>

NAFTA再交渉について4回の特集でお届けしてきました。最終回となる今回のレポートではNAFTA再交渉の行方とメキシコペソに与える影響について考えていきたいと思います。

まず、NAFTA再交渉の結論はメキシコにとってソフトランディングとなる可能性が高いと考えています。NAFTA再交渉は、NAFTA域内での関税優遇の条件である現地調達比率*が引き上げられるとともに、米国内で生産された付加価値の比率が一定以上であれば関税がかからないという制度が導入される方向で決着すると予想しています。この結果、NAFTA体制は維持され、NAFTA域内各国の結びつきがより強固になるほか、米国内での雇用増加の可能性も高まると考えます。

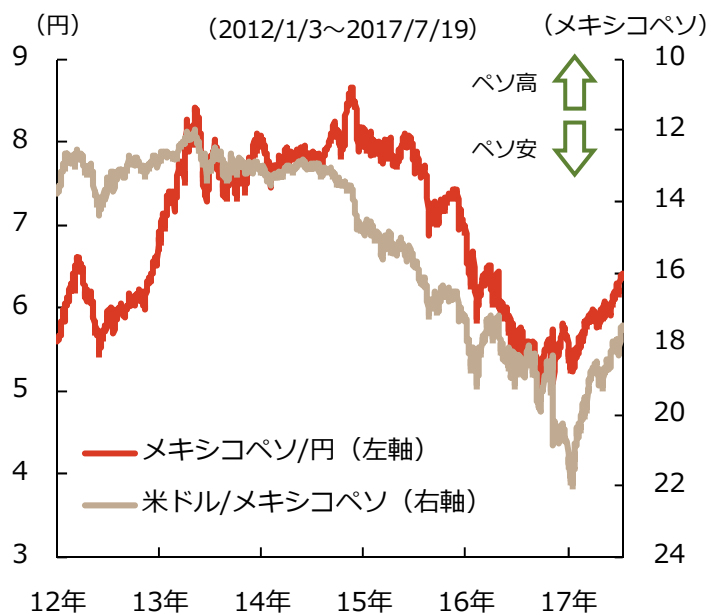
*製品の付加価値のうち、NAFTA域内で生み出されている比率

<NAFTA再交渉とメキシコペソ>

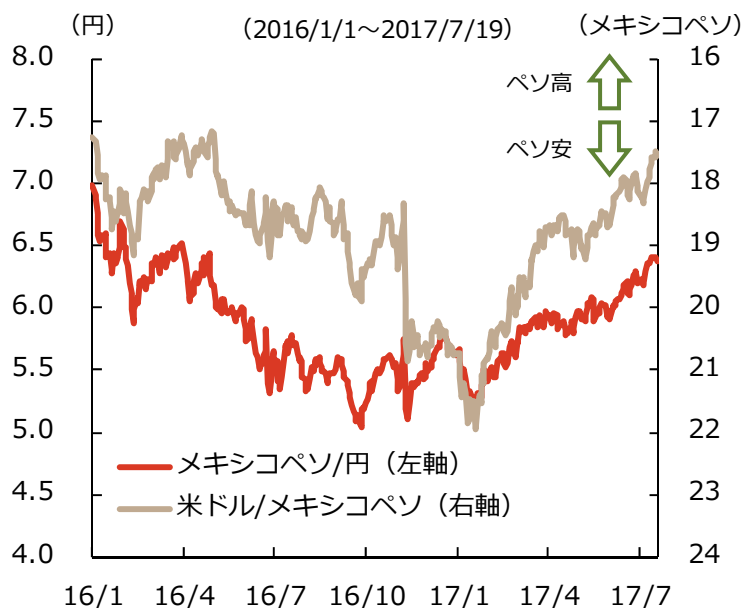
昨年の米国大統領選の選挙期間を通じてトランプ氏（現、米大統領）はメキシコとの国境に壁を作る、米国はNAFTAから脱退するなど、メキシコに対して過激な発言を続けてきました。その結果、金融市場ではメキシコ経済への警戒感が広がり、メキシコペソは軟調に推移しました。当社の想定するソフトランディングシナリオよりもメキシコ経済への悪影響を見込んだ、いわばハードランディングシナリオを一定程度織り込みながら下落してきたと考えられます。

足元ではメキシコペソは反発に転じていますが、依然としてハードランディングシナリオを一部織り込んだ水準にあるものと思われます。そのため、今後、NAFTA再交渉が進展していく際には、当社の想定するようなソフトランディングシナリオが市場参加者の間に浸透し、メキシコペソが上昇することが期待されます。

<メキシコペソの推移①>



<メキシコペソの推移②>



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会